

「心に花 人に愛 奉仕によるこびを」

会長 佐藤 佳朗



THE WEEKLY REPORT
2010~2011

TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2686回 例会
プログラム
ほほえみ工房
No. 2533 10月7日(木)

次週以降の予定

10月14日(木) 滝川・砂川合同例会(滝川担当)
10月21日(木) ウォータークリーニングプラン(タイ)
10月28日(木) ガバナー公式訪問例会

第2685回 例会報告

2010年 9月30日(木)

会長挨拶・報告

寄付金贈呈



朝晩がめっきり寒さを感じる季節になってまいりました。会員各位には体調をくずさないよう心掛けて下さい。

さて9月21日の交通立哨には、朝夕で16名の会員にご協力頂きました。又、そらぶちキッズキャンプのウッドチップの道づくり奉仕には、9月25日・26日の両日に27名のお手伝いを頂きまして誠にありがとうございました。本日の例会は、そらぶちキッズキャンプでの社会奉仕担当の移動例会です。本日は宜しくお願い致します。

キッズキャンプへ滝川RCより寄付金贈呈



幹事報告

先週のプログラム

【社会奉仕委員会担当 移動例会】



1.すでにFAXでお知らせしておりますが、10月7日(木)は第10回定例会理事会を開催いたします。尚、12月に担当例会をお持ちの各委員長さんは、事業実施計画書の提出を来週5日までにお願いいたします。
2.来週の例会も、職業奉仕委員会担当の移動例会です。場所は、ほほえみ工房です。(滝の川西5丁目4-28)



小山 進委員長

本日は先日多くの会員にお世話になったウッドチップの道を散策して頂き、病気とたたかう子ども達の夢を叶えるキャンプについてお話を頂きたいと思っております。

病気とたたかう子どもたちの夢を叶えるキャンプ

委員会報告

公益財団法人そらぶちキッズキャンプ
佐々木健一郎氏



活動趣旨

日本では、約20万人の子どもたちが小児がんや心臓病などの難病とたたかっていると言われております。子どもたちは辛く厳しい闘病生活の中で、自然とふれあう機会がほとんど無いのが現状です。「外で遊びたい」それが夢だという子どもたちがいるのです。この子どもたちの夢を叶えるため、「病気とたたかう子どもたちに夢のキャンプ場をつくらう」という思いが、滝川市丸加高原に結集し、できあがったのが「そらぶちキッズキャンプ」の計画です。

これまでの取り組み

2004年3月に設立した「そらぶちキッズキャンプを創る会」は、これまで次のような取り組みを行ってきました。まずは多くの人にこの計画を知ってもらうため、学会や

親睦委員会

10月14日(木)砂川RCとの合同例会をPM6:00よりマリアージュインベルコにて行います。

社会奉仕委員会

難病の子ども医療ケア付キャンプ場「そらぶちキッズキャンプ」の敷地内西側には、森が広がっており、特にキツツキが集まりやすい場所を「キツツキの森」と呼んでいる。森の維持管理ボランティア「そらぶちの森人」は、平成21年度から、キツツキの森の下草刈り、間伐作業を行っており、滝川ロータリークラブも、その入口に「森の休憩小屋」を設置(寄贈)した。平成22年度は、協働作業として、休憩小屋からキツツキの森にいざなうウッドチップの道づくりを行った。この道により、車椅子を使用する子どもたちも安全に楽しく森に入っていけるようになった。

様々なイベントでの広報、テレビや新聞を通じた発信を行い、またキャンプイメージの共有やプログラム、医療支援体制等の検証を行うため、実際に難病の子どもを招待して、プレキャンプを行ってきました。あわせて、北海道連絡所の開設、滝川市との建設推進に向けた合意書の調印、1億7千万円の高原基金助成の獲得、米国キャンプとの提携などを実現させてきました。

2007年度には、専用施設の建設工事を一部開始し、2008年度にはキャンプ場を運営する組織として一般財団法人への登記。2009年度には一部施設利用を開始し、その後は資金状況、整備状況にあわせて、本格的な開園をする予定となっています。

プレキャンプの様子

滝川市丸加高原において、夏と冬あわせて計12回のプレキャンプ(既存施設「伝習館」を利用)を実施し、延べ240名を超える病児とたたかう子どもたち(小児がんなど)は、これまで全国各地から500名以上が集まっています。参加した子どもたちは、北海道の大自然を満喫し、笑顔一杯で仲間たちと思い出をつくり、生きるエネルギーを得ています。プログラムは、丸加高原での自然体験だけでなく、乗馬やグライダー、カヌー、農業体験など滝川のまち全体を利用して楽しんでもらっています。これらプレキャンプの様子は、完成後のシーンを想像させてくれます。

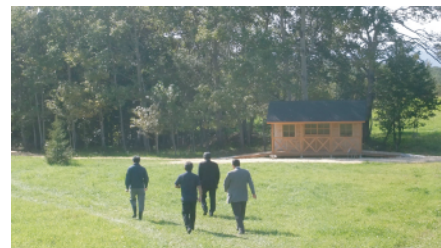
施設整備計画

キャンプ地は、子どもたちが安全に安心してキャンプを楽しめるよう、周囲を森に囲まれた静かな場所で、子どもたちの隠れ家のようになっています。仲間たちと一緒に数日間のキャンプ生活を送る施設として、宿泊棟やコテージ、食堂、森の案内所(事務棟)、小劇場&体育館等があり、キャンプ中に医師が常駐する医療棟は、子どもたちの遊びの動線から離れた目立たない場所に配置されています。敷地の2/3を占める「そらぶちの森」を歩くと、花畑や果樹園、テントサイト、野外炊事場、小川、つり橋、魚釣りの池などがあらわれます。アーチェリーや小動物とふれあえる場所もあり、子どもたちは好きな遊びをすることができるように計画しています。冬には丘の傾斜を利用して、そりやスキーが行える場所もあります。もちろん建物内や屋外空間は、すべてバリアフリーデザイン、ユニバーサルデザインが施されるほか、手すりや扉の取っ手、サインの高さは通常より低く、またサインは遊び心を持ったデザインになっているなど、空間全体が病児とたたかう子どもたちに配慮した設えとなっています。

これからの夢

上述してきたミッションを実現していく

ことがもちろん第一の夢ですが、キャンプ周辺のまちが元気になっていくことも夢のひとつとして考えています。キャンプを一緒に創り上げていく中で、交流人口の増加や経済的な効果だけでなく、もっと内面的なところまでまちが元気になれば嬉しいなと考えています。



会長／佐藤 佳朗
幹事／西村 恒則
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30
例会場●ホテルスエヒロ
事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16
TEL(0125)22-3344
FAX(0125)24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。